

たまき塾通信 2015. 6月号

梅雨入りしました。雨が降るのは天の恵み、その後の晴天は
空気が澄んでいっやう気持ちが良いです。また紫陽花も美しいです。

日本は四季があり、その一つ一つを楽しんで過ごしたいものです。

さて中間テストが終わりました。皆さんの努力した結果のテストの得点に
表れ私達講師一同 とても嬉しく思っています。特に中2は450点以上
400点以上が続出しました。5教科、どれも手を抜かずしっかり勉強して
成果です。でもそれだけではいいと思いません。今の中2生は1年生の時からずっと
努力、たくさん問題を解き、難しい問題にもチャレンジしてきたのです。

それでも思った結果が出なくて悔しい思いをし、落ち込んだこともありましたが、

その積み重ね、努力、目標を掲げての勉強がエッセンスとなり形となり、今回
表れたことが私達一番嬉しいです。今回は全員が自分の目標点を決め

それを書き、机の前に貼って臨んで中間テストです。たまき塾の事務所

にもそのコピーを貼り、私達にも毎日それを見て授業に臨みました。

見ているうちに、皆さんの実際その点をどうやってイメージが出来ました。

『イメージする』これも大切な成功へのステップです。一流スポーツ選手も
イメージトレーニングを大切にされています。期末テストもぜひ実行しましょう！

目標を定めて成長を、そして皆で一緒に頑張って期末テストに臨みましょうね。

先日、テレビで最後の楽園と言われるアフリカ最南端の島である
マダガスカル島の子供もこのことが取り上げられていました。

マダガスカルでは国民の9割以上が1日200円以下の生活をしていて
5歳以下の死亡率も高く貧困から犯罪が多発しているそうです。

12歳の女の子エリスさんは学校にも行けずランドセルの代わりに幼い妹を
背負い裕福な観光客を相手に物乞いをするのが日課です。

家族の前では笑顔絶やさず彼女も、本心である「学校に行きたい」
この一言すら言えないのです。週に一度、学校に行けない子供のための

小学校での温かい食事と一時間だけ授業とをいから楽しみにしています。

「学びたい、そして、医者になって困っている人を救いたい。」という少女
エリスの夢。— おそらく叫ぶことのない彼女の夢です。彼女は最後に

「笑顔でいても時々泣き下るの。」と話していました。涙が出ました。

学び、知り、考えることは本当に尊いことです。その機会を望んでいても
手に入れないエリス。とにかくチャンスはあるのに手を抜いては行

いたくない！ 皆さんのような世界のどこかの子供の分も学び
活躍し、いつか世界中のどこかの悲しい思いの子供を救って欲しいです。

学ぶことは力を付けること。今度も一緒にたくさん学んでいきましょう。